



道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2021 Winter No.23

- 巻頭言 『歯科技工士のSDGsを考える』
- 「2021年 地域会長懇談会」報告
- 「第65回北海道歯科技工学術大会」報告
- 「デジタル技工を通じて」 十勝歯科技工士会 春日 卓也
- 地域組織会長に聞く 旭川歯科技工士会 会長 桜庭 啓晃
- 若手歯科技工士から一言 札幌歯科技工士会 若林 侑輝
- 離島派遣報告 焼尻島編 西谷 均
- 歯科技工における手話表現・見える言葉
- お知らせ：新型コロナウイルス感染症について/メーリングリスト登録について/
Twitter 開設について/学術論文募集について
- 理事会報告
- プロフェッショナル「モノリシックジルコニアにステインテクニックを用いた1ケース」
札幌歯科技工士会 石井 友和
- 編集後記
- 活動・会員特典の紹介

PC用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/keitai.html>

『歯科技工士のSDGsを考える』

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、長期的な開発の指針として2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴール(目標)・169のターゲット(具体的目標)から構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、最新のSDGsの達成・進捗状況を報告した『Sustainable Development Report 2021』によるとSDGs達成度は1位フィンランド、そして2位にスウェーデンが続きます。また国連の持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) が、毎年「国際幸福デー」に合わせて発表している世界幸福度ランキングによると4年連続フィンランドが1位、2位がスウェーデンという結果になっており、SDGsと幸福度は密接な関係があると推測されます。ちなみに2021年における日本のランキングはSDGs18位、幸福度56位という結果であり、日本としてもSDGsに積極的に取り組んでいかなければならないでしょう。17の目標は以下になります。

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

SDGsは、国際社会における国家の問題という範囲にとどまらず、民間企業や各個人まで、幅広いレベルで活用が期待されている理念です。企業では、将来にわたって継続し、より発展していくための、社会の需要を重視した長期的視点に立った経営・事業展開の指針として SDGs が重視されるようになってきています。SDGs は、いわば理念のひな形であり、それぞれが自分の事業に応じた形で SDGs の実現に取り組むことが重要です。

歯科技工士においては、すべて直接に関係するというわけではありませんが、生涯研修や女性活躍推進、環境対策、働き方改革、トレーサビリティの確保などの取り組みは、「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」「7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「8. 働きがいも経済成長も」「12. つくる責任つかう責任」といったところに繋がります。また昨今、少子化が進み歯科技工士になる若者が減少している中、このSDGsへの取り組みはその解決策にもなっていくのではないのでしょうか。

私自身、取り組める目標を選択することにはなりますが、「歯科技工士の幸福度」を上げるとともに、多くの若者が目指したい職業となるため、SDGs達成に向け、目の前にあることからコツコツと取り組んでいきたいと思っています。



● ● 2021 年度 地域組織会長懇談会報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 藤王 千春

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のために中止を余儀なくされた地域組織会長懇談会でしたが、本年度は2021年10月23日（土）午後1時より北海道歯科技工士会館に於いて無事に開催されましたのでご報告いたします。

開会直後の点呼により組織会長3名の欠席を確認し、長口副会長が座長に選出されました。議事は扇会長の挨拶から進行し、扇会長からは「任期満了に伴い新しい理事を迎えた新執行部が北海道歯科技工士会の未来のために新しい挑戦も視野に活動するためにも地域組織会長の皆様から奇譚のない意見を伺う懇談会にしたい」と挨拶があり、続いて議題である2022年度の活動方針（案）、各部門事業計画（案）、会計収支予算（案）、学術事業（案）が各担当理事より報告されました。

特に学術事業については政氏常務から2022年度の学術大会、研修会の開催予定ブロックと担当技工士の報告があり、西川副会長からはハイブリット形式の学術事業を実施する方法の説明と報告がありました。それに合わせて学術事業の参加費について支払い方法

の多様化を求める意見がありました。

そして、課題の多い組織拡充については出席された全ての組織会長から発言していただく場を設け、各組織の現状と貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。

更には道技広報 No.20 への折り込み、個々の会員へのハガキでの案内済みでもあるメーリングリスト登録について長口副会長から現在111名（全会員の23%）と報告があり、今後の学術事業の告知や道技ホームページ（SNS）の更新を周知する方法としても必要になりますので、会員の皆様にはご理解いただきたいと思います。

報告事項として、廣田専務から2021年度各部事業中間報告と会計収支決算中間報告、2021年度と2022年度の事業日程（案）について、村上常務から道技ホームページの更新について報告がありました。最後に、ウェビナー推進プロジェクトについてリーダーで釧路の組織会長でもある清水会長から報告があり、全ての議事日程が終了し閉会致しました。



● ● 第 65 回北海道歯科技工学術大会開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 学術担当常務理事 政氏 勲

2021 年 10 月 3 日（日）に滝川市のホテル三浦華園で第 65 回北海道歯科技工学術大会が開催されました。

講演は、はじめに東京都歯科技工士会の関克哉先生に「チーム医療におけるラボセクションの重要性～審査診断から補綴製作まで～」との演題で関先生ご自身が日々の臨床で意識、創意工夫をしている取り組みをご紹介いただきました。また、患者情報の重要性について、口腔内写真の解説、シェードテイキングのポイント、バイト印象の考察など丁寧に講演くださいました。さらに前歯部形態を再現する基本的な考え方や陶材を用いた色調再現のレシピなども臨床症例と共にご解説いただきました。

続いて、札幌市でフランス歯科を開業しております歯科医師の佐々木ミッシェル先生に「前歯部コンポジットレジン直接修復からみる構造特性と色彩・光学」との演題で充填用コンポジットレジンの特性が色調再現にどのような影響を及ぼすのかをご解説いただき、各メーカーのフィラーが発展したこともあり、直接修復治療においても色調や材料特性を理解することで患者に満足いただける色調再現が出来ることを多くの臨床例を交えながら講演いただきました。

関先生、佐々木先生ともに歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、患者に関わる全てのスタッフのコミュニケーションが取れることで良い治療が提供出来ることを参加者に教えてくださいました。

会員研究発表においては十勝歯科技工士会所属の春日卓也氏に「デジタル技工を通じて」との演題で 3D プリンターの活用方法や口腔内スキャナーでの印象採得時の勘所などを発表いただきました。

講師のお二人とも大変多忙なスケジュールの中、第 65 回北海道歯科技工学術大会の講師を快諾してくださり、改めて心より感謝申し上げます。

また、学術大会当日までご協力いただきました空知歯科技工士会の皆様にも厚く御礼申し上げます。

今回の学術大会はコロナ禍の影響を受け、約 2 年振りに会場を設けて実施する研修会でした。昨年立ち上げたウェビナーチームと学術で連携をし、学術大会前日から会場に入りセッティングを行い、ハイブリッド形式での開催を無事に終えることが出来ました。不慣れな点もまだまだございますが回を重ねるごとに改善をしていく所存ですので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

最後に会員の皆様にお願いがございます。オンライン受講の方にも対面受講の方と同様に単位取得の出来る運営をさせていただいておりますが、ZOOM 入室後の氏名をご自身の氏名に必ず変更いただきますようお願い申し上げます。



デジタル技工を通じて

十勝歯科技工士会 春日 卓也

はじめに

最近ではCAD/CAMという言葉も身近になってきている。当社もCAD/CAMを導入して数十年、私が携わり始め数年経つが、ますますCAD/CAMを使用した歯科技工が増えパソコンに向かう時間が多くなってきた。そこで毎日の作業工程を報告する。

設計のための各情報入力

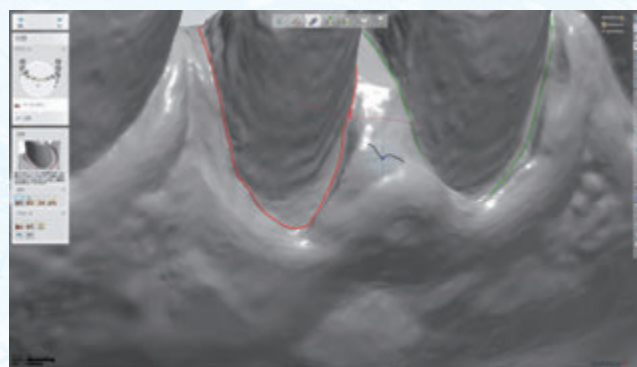
まずは顧客情報、患者情報、補綴部位や種類、製作物のマテリアルを設定し製作物を決定します。マテリアルの中にはインハウスで製作出来ない物もあるのでその場合は各社ミリングセンターへ製作の依頼をする。



1 各情報入力

口腔内データの設定と制作物の設計

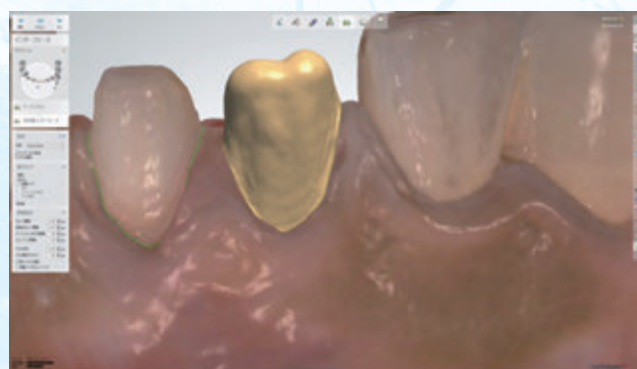
口腔内データのトリミングやデータの修復、咬合関係の設定などの各設定を終え製作に入っていく。マージンラインを設定し、冠内面のセメントスペースを数値で設定する。



2 マージンラインの認定



3 データの修復



4 セメントスペースの設定

歯牙設計

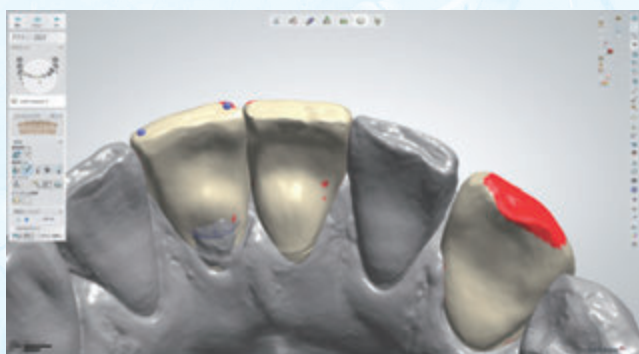
歯牙の形態はライブラリーに色々な形態がありその中から隣在歯や対合歯の形態に近い物を選択し決定する。なおこのライブラリーは自分でスキャンしたデータや設計したデータなどを入れることが出来る。歯牙形態を選択した後、適切な位置にその歯牙を仮に配置する。細かな形態の調整をし、歯牙を最終形態まで設計する。



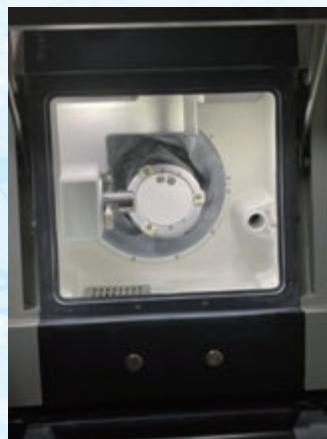
5 歯牙選択



6 歯牙のサイズ調整



7 細部の調整



8 ミリング



9 シンタリング

完成

設計したデータを加工機に送って設定したマテリアルを削り出す。今回はジルコニアを使用しているので切り離した後、面をならしシンタリングに入れ焼結させる。焼結された後、コンタクト、バイト調整を行い、ステインをして完成。



10 完成

おわりに

デジタル技工に携わり CAD の操作はある程度触れていれば慣れるものですが、歯牙の形態を取ることの難しさを改めて感じた。日々精進をし、より良い技工を心がけ、患者様の幸せに携われる様努力したいと思う。

● ● 地域組織会長に聞く ● ●

旭川歯科技工士会 会長 櫻庭 啓晃

2021 年秋、旭川歯科技工会では2019 年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科技工士会事業を実行できない状況にあります。例年であれば、いくつかの行事が行われているはずですが、新型コロナウイルス感染症のリスクは多岐にわたります。

新年会は、年の初めに歯科医師会役員、歯科衛生士会役員、各来賓と歯科技工士の会員を含め 40 名ほどで開催しています。場所は、毎年変わらずトーヨーホテルです。麻雀大会は冬の寒い時期に開催しています。観桜会は、桜の開花の時期に日程を合わせられず、お花見は何時もお酒が中心です。

歯の健康キャンペーンは、旭川大雪アリーナで毎年 6 月におよそ 3,000 人の来場があり、旭川市の健康まつりです。歯の健康キャンペーンでは、フッ素塗布や、フッ素うがい体験、歯並びなどの歯の健康相談など、多くのコーナーがあり、歯の健康以外にも様々な団体の活動をパネル展や体験コーナー等で紹介されています。旭川歯科技工士会は、毎年石膏手形体験コーナーを子供対象で行っており、毎年楽しみにしている親子

がいます。

ボウリング大会は、歯科衛生士会と歯科技工士の会合同で開催され、優勝者が歯科衛生士会の時もあり、毎年盛り上がりました。しかし、数年前からボウリング大会はなくなり、ゴルフ大会に変わりました。忘年会は、歯科衛生士会と合同忘年会もあります。

学会は、道北ブロック 3 年に 1 回、そして旭川歯科医師会学会が 2 年に 1 回開催されます。歯科医師会学会では、歯科技工士の講演と発表の機会もあります。

新型コロナウイルスにより止まってしまった歯科技工士の活動をどの様に戻せば良いのでしょうか。ワクチン接種率を上げる事が一番とされていますが、接種しても感染しない訳ではありません。治療薬が出来て普及され、普通の風邪の様な感覚になる事を希望します。このままでは、会員のほとんどが通信会員の様だと思います。また、いま旭川では、ノロウイルスのクラスターが出ています。アルコール消毒は、効きません。日頃から健康が大事です。気を付けて下さい。会員の皆様には、健康でありますよう祈念いたします。



● ● 若手歯科技工士から一言 ● ●

札幌歯科技工士会 若林 侑輝

私は「広島大学 歯学部 口腔健康科学科 口腔工学専攻」を卒業後、同学科の大学院に進学しました。そして、現在、北海道大学病院に勤務させていただいております。歯科技工士免許を取得して4年目となる、現在26歳です。

今回は、私の歯科技工士としてのモチベーションの話をさせていただきたいと思います。

私が、広島大学・大学院を卒業して最も良かったことは、教養科目などの座学や歯科技工の実習、卒業研究ではなく、人との繋がりがだと思っています。もちろん、座学で学んだ役に立たないと思っていたことが、今の仕事に繋がってくることもあります。

元々、歯科技工の苦手だった私には、学生時代に歯形彫刻の練習に付き合ってくれる友人たちがいました。また、悩んだ際には、親身になって相談に乗ってくださる先生方や、先輩方がいました。その繋がりが

今もつづいており、その方々から受ける刺激が私の仕事のモチベーションとなっています。

何かにつまずいた際には、学生時代の友人に電話し、仕事の話やプライベートのことを相談し合います。卒後から月に1回電話で話をしています。

また、新型コロナウイルス蔓延以前であれば、学会などにいくと大学の先輩方にお会いすることができ、先輩方に少しでも近づきたいとの思いがモチベーションアップにつながっていました。皆様のモチベーションは、何でしょうか。

私は、今期から北海道歯科技工士会の理事をさせていただいていますので、特に若い会員の方々のご意見を聞いて、北海道歯科技工士会の運営に反映させたいと思っています。また今後、若い会員の方々との交流の機会が作れるといいなと思っています。



顔面欠損の患者さんの患部をデジタル印象している筆者



その後、製作したエピテーゼ（顔面補綴装置）

離島派遣記 焼尻島編

札幌歯科技工士会 西谷 均

I チーム

メンバーは焼尻班本多先生、天売班兼平先生をリーダーに衛生士2名、技工士1名の4名で構成され、年3回派遣される。

リーダーの先生と技工士は両島共にほぼ同じだが、衛生士さんは毎回違うのでどんな衛生士さんが参加するかちょっと楽しみではある。



II 島に行く

島には羽幌からフェリーで渡る。夏の7月は、快適なクルージングが楽しめるが、初冬の11月は少し波が高くなり船は少し揺れる。真冬の2月は波が高い日が多く、欠航することが多くなる。3.5mの波で欠航になるが判断は船長さん次第。出航すれば船酔いすること間違いなし。今年の2月はフェリーの欠航が続き、結局島には渡れず。毎日、羽幌の近郊にある温泉巡りで終わってしまった。天売班は1週間前の派遣だったので、ギリギリ帰ってくることができたようだ。



III 島での技工

島には日曜日から土曜日まで7日間滞在して技工作業をするのだが、設備は40年前にタイムスリップしたような超アナログ設備。しかし、自分には全く違和感がない。

作るものは主に義歯。技工士が1人なので6床作るのがせいっぱい？日曜日の午後から作業を始めて、木曜日の午後には全ての義歯を完成させてセット終了。その間に義歯の修理、義歯への増歯、局部床義歯のクラスプの屈曲、リベース義歯の辺縁調整研磨などの作業。金曜日は義歯の調整のための予備日。木曜日までは超忙しいが楽しい日々である。





Ⅳ 島での暮らし

島には何もない。コンビニなんかないし、ATMは郵貯だけ。宿泊する旅館にWi-Fiは入っているが少し不安定。部屋には24型くらいの小さなTV、それも時々画面が乱れる。夜、夕食が終わってからが長い。TVを観るか本を読むことくらいしかすることがない。診療所に行っているときは別としてとにかくゆったりと時間が流れる。



島で1軒だけの喫茶店で昼食



宿の夕食



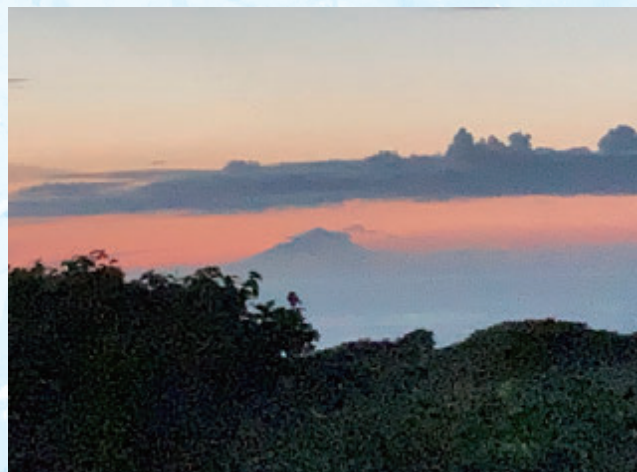
ウニ漁の季節なので殻付きウニ

Ⅴ 島の人々

島は高齢化が進み若い人はとても少ない。人口も現在は200人を割っている。そんな中で、若い人たち(40代)が我々のために懇親会を開いてくれたりする。今回は焼尻島星空ツアーを企画してくれた。

天売島と遠くに利尻富士が見える島の西側の高台に行き、空を見上げる。久々に仰ぎ見る星空には人工衛星が横切るのが見える。結構な数の人工衛星が宇宙を飛んでいた。

都会では見られないきれいな星々を観ることができた。



夕陽をバックに利尻富士を望む

Ⅵ 終わりに

本多先生は「この先何年離島診療が続くかわからない」と言っているが、この派遣事業が続く限り、そして自分の体力が続く限り参加したいと思っている。

この派遣事業に参加したいと思っている方へ。

離島派遣に必要な技工士のスキルはクラスプを曲げることができること、義歯の製作ができること。この2つがあれば十分なのでぜひ参加してください。

● ● 歯科技工における手話表現・見える言葉 ● ●

工藤 三重子

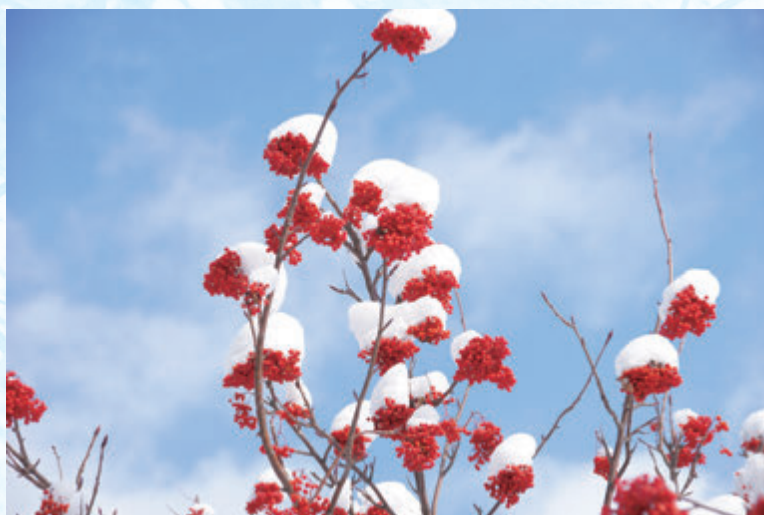
コロナ禍で行われた東京オリンピック・パラリンピック、無観客での開催でしたが、TV 観戦ではアスリートの皆さんからパワーや感動をもらったと感じられた方は多いのではないのでしょうか。

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、障害者の方達が技能を競うアビリンピックが毎年開催されています。種目も多岐にわたり歯科技工の部門も開催されています。北海道デフ歯科技工士協議会の会員も挑戦し、昨年度は金賞受賞されています。

今回は「アビリンピック」の表現を紹介します。指文字の「ア」と「オリンピック」の組み合わせです。手話表現してみましょう。

口形：アビリンピック		
		
指文字「ア」	両手親指と人差し指で輪を作り、反対側の輪とつなげる。次に左右の輪を上下つなぎ変える。 →手話「オリンピック」(オリンピックの五輪の輪を表している。)	
参考 ※指文字を「パ」に変えて手話「オリンピック」→手話「パラリンピック」		

2021 年度 北海道デフ歯科技工士協議会主催歯科技工用語手話研修会のご案内
2022 年 1 月、第 8 回歯科技工用語手話研修会の開催を予定しております。
詳しくは、北海道歯科技工士会にお問い合わせください。



お知らせ

● ● 新型コロナウイルス感染症について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、情報を適宜掲示しています。 <https://dougior.jp>

● ● 北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。 <https://dougior.jp>

※メーリングリスト登録の注意点

機種変更や受け取りたい媒体の変更によりアドレスが変更になる場合は、メーリングリスト登録フォームから再度登録していただき、備考欄にアドレス変更と必ず入力して再登録を行ってください。

● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会 Twitter(ツイッター)公式アカウント開設について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、Twitter (ツイッター)公式アカウントを開設いたしました。本会に関わる情報を発信していきます。最新の研修会案内も投稿します。是非、Twitter をインストールしていただき北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。



● ● プロフェッショナルの募集について ● ●

会誌プロフェッショナルのコーナーに掲載する写真を募集しています。写真1～2枚と題名及び使用材料を明記のうえ是非ご応募下さい。 e-mail dougi@abelia.ocn.ne.jp

● ● 学術論文の募集について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、歯科技工技能水準の向上と安全で安心な歯科補てつ物等の提供等により道民の健康増進に寄与するための公益事業として「学術優秀論文表彰」を行っております。下記のとおり「学術論文の募集」を行いますのでご応募下さい。

- 目的：歯科技工士ならびに歯科技工士学生の学術研鑽意欲の向上を図る目的で、応募のあった中から最優秀論文を選考し表彰する。
- 対象：北海道で就労している全ての歯科技工士および北海道内の歯科技工士養成機関の本科学生および専攻科等の学生。
- 論文内容：歯科技工技術知見に係わる全般で、文字数および図表等の枚数に制限はありません。
- 募集期間：2022年1月～2022年12月まで。
- 選考方法：応募期間中に寄せられた論文は、外部選考委員も含めた3名の選考委員によって最優秀論文を選考、決定します。
- 副賞：最優秀論文受賞者には、さらなる学術研鑽を積まれるように副賞を授与します。
- 選考委員

【外部選考委員】北海道大学大学院 歯学研究科 横山 敦郎 教授
北海道医療大学 歯学部 越野 寿 教授

【内部選考委員】公益社団法人北海道歯科技工士会 扇 照幾 会長

■お問い合わせ先：公益社団法人北海道歯科技工士会 事務局

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

TEL (011) 717-7155 FAX (011) 717-6954

e-mail dougi@abelia.ocn.ne.jp

● ● 理 事 会 報 告 ● ●

2021年度第3回理事会事録

日 時 2021年6月19日(土) 18時00分～19時00分
場 所 北海道歯科技工士会館

1 会長挨拶

第8回社員総会において当選した新理事が初めて顔を揃える本理事会において、代表理事として二期目の思いを伝えたいと思っている。本理事会終了後には新理事を迎えての勉強会を用意しており、アップデートを図りながら二年の任期を遂行するために全理事の協力をお願いしたい。また、コロナ対策としては公益社団法人の役員として責任を持った行動を心掛けて頂きたいと挨拶があった。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(1) 全般

- ア 第8回社員総会について報告。
- イ 第8回社員総会質問要望事項について報告。
- ウ 第10回日技社員総会について報告。

(2) 生涯研修

- ア 第159回北海道歯科技工学術研修会について報告。
- イ 第65回北海道歯科技工学術大会について報告。
- ウ 2021年度研修事業日程について報告。

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。
- イ 道歯技広報について報告。

(4) 受託技工

歯科補てつ物作過程等の情報提供推進事業研修会について報告。

(5) 総務

- ア 2021年度第1回理事会議事録について報告。
- イ 2021年度第2回理事会議事録について報告。
- ウ 第8回社員総会議事録について報告。
- エ 離島歯科診療班派遣事業について報告。
- オ J-Mottoの運用について報告。
- カ 各種資料提出について報告。

(6) 財務

- ア 5月期の執行状況について報告。

(7) 法規

- ア 第8回社員総会議事録の提出について報告。
- イ 役員登記について報告。

(8) 就労対策

- ア 5月末組織現況について報告。
- イ 組織拡充について報告。

(9) その他

- ア 日技理事会について報告。
- イ 2020年度北海道デフ歯科技工士協議会総会について報告。
- ウ 災害時の歯科医療救護活動に関する協定書について報告。
- エ 北海道市町村歯・口腔の健康ガイドライン(第2版)について報告。
- オ 令和4年春・秋の叙勲・褒章候補者推薦について説明。
- カ 2021年度終身会員バッチ贈呈について報告。

2021年度第4回理事会議事録

日 時 2021年8月28日(土) 18時00分～19時00分

1 会長挨拶

今回、体調不良を理由に欠席者が出ている。今後、学術事業を含め地域組織会長懇談会も控えており、各担当者との打ち合わせが滞りなく、理事全員が健康管理に留意し、事業の開催に向けて準備を進めてもらいたいと挨拶があった。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(1) 全般

- ア 北海道庁・北海道歯科医師会表敬訪問について報告。(戸島副会長)
- イ 2022年度各部事業計画2021年度各部事業中間報告の提出について説明(長口副会長)
- ウ 常務会報告について報告(藤王・政氏・瀬川常務理事)

(2) 生涯研修

- ア 第65回北海道歯科技工学術大会(空知)プログラム(案)について報告。(政氏常務理事)
 - イ 2021年度各研修会の進捗状況について報告があった(政氏常務理事)
 - ウ 学術行事開催における新型コロナウイルス対策について報告。(西川副会長)
- 新型コロナウイルス対策本部設置について説明。(戸島副会長)

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。(村上常務理事)
- イ 道歯技広報22号のレイアウトについて報告。(村上常務理事)

(4) 受託技工

マグネット義歯保険適用について説明。(戸島副会長)

(5) 総務

- ア 2021年度第3回理事会議事録について報告。(藤王常務理事)
- イ 離島派遣事業について報告。(藤王常務理事)
- ウ 2021年度障がい者歯科技工士研修事業について報告。(大久保理事)

(6) 財務

7月期の執行状況について報告。(長口副会長)

(7) 法規

歯科技工士法施行細則の一部改正について報告。(戸島副会長)

(8) 就労対策

7月末組織現況について報告。(瀬川常務理事)

(9) その他

- ア 日技理事会について報告。(長口副会長)
- イ 日技LINE公式アカウント登録について報告。(長口副会長)
- ウ 保健福祉部(補助金の交付決定)について報告。(長口副会長)
- エ 保健福祉部(医療功労賞推薦)について該当者なしと報告。(副会長)
- オ 公衆衛生学会について掲載依頼しないと報告。(長口副会長)
- カ 北海道HIV/AIDS歯科医療連絡協議会後援依頼について報告。(長口副会長)
- キ 日技准終身会員申請について該当者なしと報告。(長口副会長)
- ク 日技ZOOMの配信方法に関して報告。(長口副会長)
- ケ 日技令和3年度災害歯科保健医療体制研修会の実施について報告。(副会長)

2021年度第5回理事会議事録

日 時 2021年9月18日(土) 18時00分～19時00分

1 会長挨拶

本理事会は第65回北海道歯科技工学術大会の確認および2021年度地域組織会長懇談会議事日程についての協議があるため、適宜ご意見を頂き決議していきたいと挨拶があった。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・・・・【承認】

2021年度地域組織会長懇談会議事日程承認の件・・・・・・【承認】

道技代議員会選挙管理委員会設置承認の件・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(1) 全般

- ア 2021年度地域組織会長懇談会議事日程(10月23日開催予定)について報告。(廣田専務理事)
- イ 2021年度各部事業中間報告について報告。(廣田専務理事)
- ウ 2022年度各部事業計画(案)について報告。(各部)
- エ 2021年度収支予算(案)について報告があった。(廣田専務理事)

(2) 生涯研修

- ア 第65回北海道歯科技工学術大会(10月3日)について報告。(政氏常務理事)
- イ 第65回北海道歯科技工学術大会予算案について説明。(廣田専務理事)
- ウ 第160回北海道歯科技工学術研修会(11月20日)について報告。(藤王常務理事・千葉理事)
- エ 第160回北海道歯科技工学術研修会予算案について報告。(廣田専務理事)

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。(村上常務理事)
- イ 歯技広報23号のレイアウトについて報告。(村上常務理事)
- ウ 道技Twitter開設について報告。(村上常務理事)

(4) 総務

- ア 2021年度第4回理事会議事録について報告。(藤王常務理事)
- イ 離島派遣事業について報告。(藤王常務理事)
- ウ 道技メーリングリストについて報告。(千葉理事)

(5) 財務

8月期の執行状況について報告。(長口副会長)

(6) 法規

道技代議員選挙日程について報告。(廣田専務理事)

(7) 就労対策

8月末組織現況について報告。(瀬川常務理事)

(8) 就労対策機会均等

LILAC2021コンテンツ(案)について報告。(瀬川常務理事)

(9) その他

- ア 2021年度歯科技工技術や機材等の研究・開発に関する表彰について報告。(西川副会長)
- イ 第74回北海道歯科学術大会周知(10月30日・31日)について報告(廣田専務理事)



プロフェッショナル



札幌歯科技工士会 石井 友和

「モノリシックジルコニアにステインテクニックを用いた1 ケース」



使用材料

straumann Sakura ジルコニアディスク

松風 VINTAGE Art Universal ASP,Y,BI,BI-G,LO,DR-Br,W,GP-F

編集後記

テーマ「結婚」

●最近、身近でめでたい話が続いています。新理事の中でも先月新婚さんが誕生、また自分の地域歯科技工士会でも近々披露宴を挙げるという。このコロナ禍の中で明るい話題であるが、昨日突撃インタビュー形式のテーブルスピーチを頼まれてしまった。
アドリブで対応することになり、変なことをお話ししない様に気をつけねばとドキドキです。
幸せのおすそ分けもらいに行ってきまーす。

●私事ですが、この度、結婚いたしました。コロナ禍のため、なかなか結婚の話が進まず、悩むことも多くありましたが、新たなスタートを切ることができ、一安心しています。その中での結婚式は、少人数で様々な制限の下に行いました。お祝いの言葉を各所からいただき、こんな世の中の状況でも、結婚式を行って本当に良かったと思いました。今後は、夫婦で強い家庭を築いていきたいと思います。

●もし仮に今結婚式に招待されると、ドキッとしてしまう自分がいる。それは二年前友人の結婚式に着ていたスーツが入るかどうかということである。そのスーツがいつでも着られる身体のコンドディションを整えるよう努力したい。

●道歯広報担当の理事がつい先日ご結婚されました。心より御祝い申し上げます。新しい未来に向かって輝かし

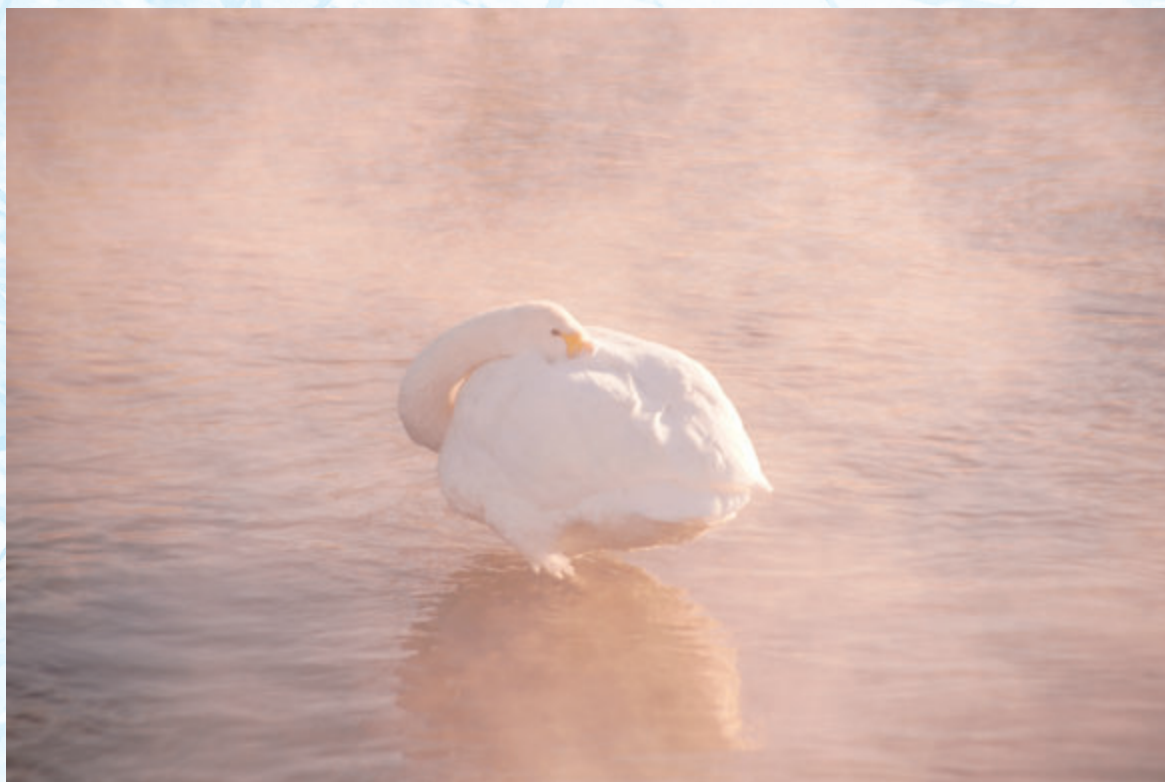
い新生活をスタートし、愛情いっぱいの楽しい家庭を築いてください。プライベートの充実とともに、道歯の会務にさらに邁進していきましょう。おめでとうございます。

●先日、当会若手理事が結婚いたしました。おめでとうございます。
笑い声の絶えない素敵な生活を過ごしてください。
さて、嫁を笑かしに行ってください。

●結婚とはなかなか難しいことなのかもしれない。お互い他人同士が生活を共に暮していくということは意見の食い違いで喧嘩をしたり、相手を思いやる心がなければ夫婦生活は成り立たなくなると思う。亭主関白・かかあ天下など色んな夫婦の形があると思うが互いの意思を尊重し、コミュニケーションをとっていけば夫婦円満な家庭になるのかなと思う。
自分以外の他人との生活は大変かもしれないけど、よき伴侶（行動や考えを共にする人）との生活は力強いものになると思う。

広報委員会 メンバー

長口 睦好・廣田 高志・村上 珠緒
若林 侑輝・佐々木英世
オブザーバー 千葉 真一 (HP 担当)



公益社団法人 北海道歯科技工士会 活動・会員特典紹介

講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の学術大会（年1回）・
学術研修会（年3回）をはじめ
実技研修会・各セミナーを開催しています。
（歯科技工士生涯研修認定）
会員は基本会費1,000円で参加できます。
（卒後3年以内の会員は無料）



情報提供

歯科技工に関わる最新の情報を会員限定ページや会誌にて、随時、情報提供しています。

歯科技工士仲間との交流

各地域歯科技工士会において、様々な行事・レクリエーションが行われています。



厚生労働省や関連団体との交渉窓口

歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。

慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方が
いらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ <https://dougi.or.jp>



北海道歯科技工士会

検索

